

施設番号
施設名 府中緑町学びの保育園
施設所在地 府中市緑町1-6-3
法人名 社会福祉法人育木会

1. 活動のテーマ 壁面を使う	
<テーマ>集中して遊びを楽しもう	
<テーマの設定理由>	
(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 体験を大事にし、心の足腰を育む。 ネフスピールもプリズモコマも作っている最中に揺らすとすぐに壊れてしまうので、集中した様子で黙々と創り上げている。また、できた幾何学模様はコマを回すと変化して見え、子どもたちは興味を持って楽しんでいた。	
2. 活動スケジュール	
プリズモコマのパーツは細かく、コマも乱暴に扱おうと壊れてしまうものなので、扱い方を丁寧に知らせ、子どもたちが大切に扱えるよう準備してから行った。ネフスピールも同様に、子どもたちが約束事を知ったうえで楽しめるよう対応している。	
3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定	
(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 机上で集中して行えるよう、同じ遊びで活動スペースを決めて進めた。ネフスピールは十分なスペースを設けて他事がぶつからないよう留意して行った。	
4. 探究活動の実践	
<活動の内容>ネフスピールやプリズモコマなど、落ち着いて遊びに取り掛かれる机上のスペースを用意し、子どもたちが集中して取り組めるようにした。また、プリズモコマのカラーパーツは十分な量を用意し、子どもたちそれぞれが思い描くイメージを表現できるようにした。	
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>	
(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) 子どもたちが集中して自由に幾何学模様の表現を楽しめるよう、保育者は活動中は見守り、子どもたちが見せてくれる完成した作品のイメージに共感したり褒めたりしながら、やる気が継続するような言葉掛けを行った。様々な色の組み合わせを楽しみ「ゆうやけにしたの!」「これは〇〇ちゃん(キャラクター)とイメージを表現する姿があった。ネフスピールでも、集中して真剣な面持ちで取り組む姿が多く見られた。	



5. 振り返り	
<振り返りによって得た先生の気づき>指先を使い、なおかつ集中して取り組める玩具として導入したが、幾何学模様を描くことが出来るので、子どもたちが自由にイメージを膨らませて楽しむ姿が多く見られた。また、回すとまた違った模様に見えたり、隣同士の色が混ざって見えたりするので、幾何学模様作りだけではなく、その先の変化も楽しむことが出来てよかった。集中して取り組む力や指先の器用さも身につくが、「こういう模様にしたいな」と想像したものを再現する力も養われ、導入して良かったと感じる。ネフスピールも同様に集中して取り組んでいたが、友だちと協力して行う様子もあり良かった。	